

25. 研修プログラムの名称及び概要

プログラム番号：031224601

病院施設番号：031224

臨床研修病院の名称：能代厚生医療センター

臨床研修病院群番号：0312246

臨床研修病院群名：能代厚生医療センター臨床研修病院群

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

1. 研修プログラムの名称	能代厚生医療センター臨床研修プログラム			
2. 研修プログラムの特色	<p>1) 当院を基幹型臨床研修病院、秋田大学医学部附属病院、岩手医科大学附属病院、秋田赤十字病院、秋田厚生医療センター、由利組合総合病院、大曲厚生医療センター、平鹿総合病院、雄勝中央病院、湖東厚生病院、かつの厚生病院、北秋田市民病院、JCHO秋田病院、能代山本医師会病院を協力型臨床研修病院とし、充実した病院群を形成してプログラムを実行する。また、当院は、秋田大学医学部附属病院、岩手医科大学附属病院、秋田赤十字病院、秋田厚生医療センター、由利組合総合病院、大曲厚生医療センター、平鹿総合病院、雄勝中央病院の協力型臨床研修病院としても研修医を受入れる。</p> <p>2) 医療圏が広範であるため、小児から高齢者医療、慢性疾患から救急医療、地域保健活動にも携わり、症例数とバリエーションが豊富である。バリエーション豊かな多くの患者を経験することにより、幅広い領域のプライマリーケアを修得できる。</p> <p>3) 診療科数、病院規模に比較して研修医募集定員を少なくしているので、研修医1人あたりの症例数、バリエーションが豊富となり、また、指導医からの指導も受けやすくなる。</p> <p>4) 内科系・外科系の幅広い分野から選択可能で、必修科目でも選択の自由度を高くしている。各診療科は専門的な研修も可能である。</p>			
3. 臨床研修の目標の概要	医師としての人格を養い、将来どのような分野に進むにせよ、医学、医療の社会的ニーズを認識しつつ、日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できるよう幅広い基本的な臨床研修能力（態度、技能、知識）を身に付ける。			
4. 研修期間	(2) 年 (原則として、「2年」と記入してください。)			
備考	研修後そのまま専門研修に入り3年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。 後期研修可能			
5. 臨床研修を行う分野	<p>研修分野ごとの病院又は施設 (研修分野ごとの研修期間)</p> <p>* 同一の研修分野について複数の病院又は施設で研修を行う場合には、適宜欄を分割してすべての病院又は施設の名称 (病院施設番号) を記入してください。</p> <p>* 研修期間は、研修分野ごとに週単位で記入してください。各研修分野におけるプログラムの詳細は備考欄に記入してください。</p> <p>* 選択科目については、その診療科を選択した場合の病院又は施設等を記入してください。</p>			
	病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来
(記入例) x x 科	1234567	〇〇 病院	〇週	〇週

必修科目・分野	内科系	031224. 030064. 030041. 030062. 030929. 030065. 030829. 030066. 030979	能代厚生医療センター、秋田大学医学部附属病院、岩手医科大学附属病院、秋田厚生医療センター、由利組合総合病院、大曲厚生医療センター、平鹿総合病院、雄勝中央病院	35 週	2.8 週以上
	救急部門	031224. 030064. 030041. 030929. 030062	能代厚生医療センター、秋田大学医学部附属病院、岩手医科大学附属病院、秋田厚生医療センター、秋田赤十字病院	麻酔科 4 週 昼間救急 4 週 時間外救急 4 週以上	
	地域医療	090037. 031225. 031234. 031217. 031221. 076303	JCHO 秋田病院、能代山本医師会病院、湖東厚生病院、かづの厚生病院、北秋田市民病院、佐世保市総合医療センター、宇久診療所	4 週	一般外来 0.8 週以上 在宅診療 0.8~1.6 週
	外科系	031224. 030064. 030041. 030062. 030929. 030065. 030829. 030066. 030979	能代厚生医療センター、秋田大学医学部附属病院、岩手医科大学附属病院、秋田赤十字病院、秋田厚生医療センター、由利組合総合病院、大曲厚生医療センター、平鹿総合病院、雄勝中央病院	5 週	0 週
	小児科	031224. 030064. 030041	能代厚生医療センター、秋田大学医学部附属病院、岩手医科大学附属病院	5 週	0.4 週
	産婦人科	031224. 030064. 030041. 030062	能代厚生医療センター、秋田大学医学部附属病院、岩手医科大学附属病院、秋田赤十字病院	5 週	
	精神科	031224. 030064. 030041	能代厚生医療センター、秋田大学医学部附属病院、岩手医科大学附属病院	5 週	
	一般外来			4 週以上	
病院で 定めた 必修 科目					週
					週
					週
					週
選択 科目	内科系	031224	能代厚生医療センター		最大 36 週
		030064	秋田大学医学部附属病院		
		030041	岩手医科大学付属病院		
		030062	秋田赤十字病院		
		030929	秋田厚生医療センター		
		030065	由利組合総合病院		
		030829	大曲厚生医療センター		
		030066	平鹿総合病院		
		030979	雄勝中央病院		

選択 科目	外科系	031224	能代厚生医療センター	最大 36 週
		030064	秋田大学医学部附属病院	
		030041	岩手医科大学附属病院	
		030062	秋田赤十字病院	
		030929	秋田厚生医療センター	
		030065	由利組合総合病院	
		030829	大曲厚生医療センター	
		030066	平鹿総合病院	
		030979	雄勝中央病院	
救急	031224	能代厚生医療センター	最大 36 週	
	030064	秋田大学医学部附属病院		
	030041	岩手医科大学附属病院		
	030929	秋田厚生医療センター		
	030062	秋田赤十字病院		
麻酔	031224	能代厚生医療センター	最大 36 週	
	030064	秋田大学医学部附属病院		
	030041	岩手医科大学附属病院		
	030929	秋田厚生医療センター		
	030062	秋田赤十字病院		
小児科	031224	能代厚生医療センター	最大 36 週	
	030064	秋田大学医学部附属病院		
	030041	岩手医科大学附属病院		
産婦人科	031224	能代厚生医療センター	最大 36 週	
	030064	秋田大学医学部附属病院		
	030041	岩手医科大学附属病院		
	030062	秋田赤十字病院		
精神科	031224	能代厚生医療センター	最大 36 週	
	030064	秋田大学医学部附属病院		
	030041	岩手医科大学附属病院		
皮膚科	031224	能代厚生医療センター	最大 36 週	
	030064	秋田大学医学部附属病院		
眼科	030064	秋田大学医学部附属病院	最大 36 週	
	090037	JCHO 秋田病院		

備考：協力病院で内科系、外科系として選択できる診療科は、各病院での内科系・外科系の標榜診療科名に準ずる。

【必修科目】

- ・内科系は35週を必修とし、当院（血液・腎臓内科 リウマチ科、消化器内科、呼吸器内科、循環器内科から選択）、秋田大学医学部附属病院、岩手医科大学附属病院、秋田赤十字病院、秋田厚生医療センター、由利組合総合病院、大曲厚生医療センター、平鹿総合病院、雄勝中央病院の内科系で研修できる。
- ・救急部門は1年次に気道確保、気管挿管などの救急研修に必要な麻酔科実習を4週、昼間救急外来研修を4週行い、更に2年間を通じて夜間あるいは休日の時間外救急外来で4週以上の日数を経験することにより、12週以上の研修期間とする。救急部門の麻酔科実習4週は、能代山本医師会病院でも選択できる。昼間救急外来研修4週は当院の他、秋田大学医学部附属病院、岩手医科大学附属病院、秋田厚生医療センター、秋田赤十字病院でも研修できる。
- ・地域医療は4週とし、JCHO秋田病院、能代山本医師会病院、湖東厚生病院、かづの厚生病院、北秋田市民病院、宇久診療所のいずれかで行う。時期は原則2年次に行い研修病院と相談して決める。
- ・外科系（外科、脳神経外科、整形外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、呼吸器外科から2科目選択）8週間、精神科、産婦人科、小児科は各5週を必修とし、外科は当院、秋田大学医学部附属病院、岩手医科大学附属病院、秋田赤十字病院、秋田厚生医療センター、由利組合総合病院、大曲厚生医療センター、平鹿総合病院、雄勝中央病院で研修できる。
- ・精神科は当院、秋田大学医学部附属病院、岩手医科大学附属病院で研修できる。
- ・産婦人科は当院、秋田大学医学部附属病院、岩手医科大学附属病院、秋田赤十字病院で研修できる。
- ・小児科は当院、秋田大学医学部附属病院、岩手医科大学附属病院で研修できる。

【一般外来研修】

当院の必修内科系診療科35週間研修中に、一週間に半日以上外来研修を行う。（14日以上研修）当院の必修小児科5週間研修中に、一週間に半日以上外来研修を行う。（2日以上研修）地域医療研修中に、一週間に一日分以上外来研修を行う。（4日以上研修）地域医療研修を行う施設により、これ以上の研修日数となることもある。以上合計20日（4週）以上の一般外来研修とする。

【在宅医療研修】

地域医療研修で、在宅診療を週1日～2日、研修施設の予定に従って研修する。

【感染対策】

感染対策、感染制御、薬剤耐性菌への対応、主に一年次に、感染対策委員会と回診へ参加する。

【予防医療】

小児科研修および地域医療研修で予防接種へ参加する。

【虐待への対応】

小児科医による虐待に関する講義を受講する。

【社会復帰支援、退院支援】

主に一年次に、社会復帰支援、退院支援カンファレンスに参加する。

【緩和ケア】

主に一年次に、緩和ケア委員会と回診へ参加する。アドバンスケア・プランニング。

【臨床病理検討会（CPC）】

2年間を通じて能代厚生医療センターで行う。

【認知症ケア】

精神科研修で精神科外来研修、認知症外来研修を行い、精神科リエゾンチーム回診へ参加する。

【自由選択科目あるいはキャリア研修】

能代厚生医療センター（内科系、外科系、小児科、産婦人科、精神科、皮膚科、放射線科、病理診断科、麻酔科、救急）、秋田大学医学部附属病院（内科系、外科系、救急、麻酔、小児科、産婦人科、精神科、皮膚科、眼科、病理診断科）、岩手医科大学附属病院（内科系、外科系、救急、麻酔、小児科、精神神経科、産婦人科、放射線診断科・治療科、病理診断科）、秋田赤十字病院（内科系、外科系、救急、産科）、秋田厚生医療センター（内科系、外科系、救急、麻酔）、由利組合総合病院（内科系、外科系）、大曲厚生医療センター（内科系、外科系、麻酔科）、平鹿総合病院（内科系、外科系）、雄勝中央病院（内科系、外科系）、かづの厚生病院（地域医療）、北秋田市民病院（地域医療）、湖東厚生病院（地域医療）、能代山本医師会病院（地域医療）、JCHO 秋田病院（眼科、整形外科、地域医療）、能代保健所（保健・医療行政）、佐世保市総合医療センター宇久診療所（地域医療）から選択し、研修できる。能代厚生医療センターの内科系は血液・腎臓内科 リウマチ科、消化器内科、呼吸器内科、循環器内科から選択し、外科系は外科、脳神経外科、整形外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、呼吸器外科から選択する。なお、到達目標に未到達がある場合は、2年次の自由選択期間に、到達目標達成に必要な診療科を割り当てることがある。

基幹型臨床研修病院での研修期間・・・最低 52 週 ※原則として、52 週以上行うことが望ましい。

臨床研修協力施設での研修期間・・・最大 12 週 ※原則として、12 週以内であること。

ただしへき地・離島診療所等の研修期間が含まれる場合はこの限りでは無い。

研修プログラムに規定された 4 週以上のまとまった救急部門の研修を行った後に救急部門の研修としてみなす休日・夜間の当直回数・・・約 100 回

救急部門（必修）における麻酔科の研修期間・・・4 週 ※但し、4 週を上限とする

一般外来の研修を行う診療科・・・内科系、小児科、地域医療

※地域医療の中での在宅診療を一般外来の欄に記載すること

能代厚生医療センター														
秋田大学医学部附属病院														
岩手医科大学附属病院														
秋田赤十字病院														
秋田厚生医療センター														
由利組合総合病院														
大曲厚生医療センター														
平鹿総合病院	自由選択	2	1	2	3	1	1	1	4	4	4	4		
雄勝中央病院														
かつの厚生病院														
北秋田市民病院														
湖東厚生病院														
能代山本医師会病院														
JCHO秋田病院														
能代保健所														
佐世保市総合医療センター宇久診療所														

* 1 : 臨床研修病院群における臨床研修で、1つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法（たすきがけ方式等）を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを1枚にまとめたものを添付すること。

* 2 : 「研修分野」欄には、「5. 臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。

* 3 : 選択必修科目や選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。